



1回(昭2年卒)~  
23回(昭24年卒)  
卒業生2,835名



1回(明43年卒)~  
39回(昭24年卒)  
卒業生3,327名



1回(昭23年卒)~  
64回(平24年卒)  
卒業生28,399名

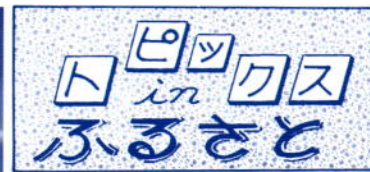


双鶴同窓会報

発行〒624-0841  
京都府舞鶴市引土145  
京都府立西舞鶴高等学校

双鶴同窓会  
☎(0773) 75-3131

編集 松田 潔  
責任者 井田 和志  
印刷 オガワ 印刷



▲来年5月に京都舞鶴港に入港する「サン・プリンセス」



◀海から見た赤れんがパーク



▲赤れんがパークのオープニング

1 赤れんがパークの完成

舞鶴市には、明治・大正・昭和初期に建てられた赤煉瓦建造物が多数残っています。中でも北吸地区の赤煉瓦倉庫群においては、これまで赤れんが博物館(1号棟)、市政記念館(2号棟)、まいづる智慧蔵(3号棟)が開館されましたが、新たに赤れんが工房(4号棟)とイベントホール(5号棟)の2棟が整備されて、5月に赤れんがパークとしてグランドオープンしました。

2 クルーズ客船の京都舞鶴港入港

昨年11月に京都舞鶴港が、日本海側拠点港の「国際海上コンテナ」、「国際フェリー・国際RORO船」、「外航クルーズ」の3機能について選定を受け、京都舞鶴港の持つポテンシャルが国レベルで評価・確認されました。  
近年は、貨物船のほかにクルーズ船等も寄港し、昨年11月には、舞鶴港第2埠頭に国内最大の豪華客船「飛鳥II」(5万142トン、旅客定員872人)が寄港。

本年7月末には舞鶴港と韓国の浦項間日港間の定期航路を目指して、クルーズ船を利用したフェリートライアル(試験航行)が実施されます。また、同月に舞鶴港発着の「ばしふいっくびいなす」(2万6549トン、同644人)の佐渡クルーズ、9月に新潟発の「飛鳥II」日本海クルーズの寄港、10月に舞鶴港発着の「ばしふいっくびいなす」の東北クルーズ、9月と3月に新日本海フェリーの舞鶴・丹後周遊クルーズが予定されています。

さらに、来年5月・7月には、外国の大型クルーズ客船「サン・プリンセス」(7万7千トン、同2022人)が初寄港するなど、賑わいを見せています。

# ご挨拶

## 舞女・舞中のDNAは今に

双鶴同窓会会長 南 房夫



今年の2月は、舞鶴で観測史上最も多く87センチの積雪を見ました。4月初めには日本海で発生した爆弾低気圧とやらが日本列島を北に駆け抜けて各所で被害が出ました。桜の開花は例年より1週間ほど遅れました。

西高の卒業式の3月1日は暖かい日に恵まれて、厳肅な中に教職員と生徒の皆さんの思いが

凝縮した立派な卒業式が挙行され、三〇〇羽の若鶴が巣立ち、同窓会にピカピカの新入生を迎えました。卒業式や卒業式後の教職員の卒業を祝う会や、新学期前の異動時の歡送迎会には同窓会長がご招待を受け、冒頭に祝辞や挨拶をさせて頂いていきます。

本来卒業式以外は同窓会長は呼ばなくてもよいと思いますが、学校運営に同窓会の存在を重く

配慮され、大変な気遣いをして戴いています。この春の歡送迎会で、転入された先生から「双鶴同窓会」の双鶴との命名のなり立ちが聞かれました。

本校は昭和23年に、戦後の学制改革で、旧制舞女・舞中が併合され、西舞鶴高等学校になり、同時に同窓会が設立されたとの記録はありますが、その謂れは聞いていません。毎回挨拶はちよつと考えますが・・・

「双鶴とは二羽の鶴です。一羽は明治40年生まれに加佐郡立舞鶴高等学校の雌鶴、もう一羽は大正11年生まれの京都府立昭和三十二年に「つがい」になりま

した。歳の差15の姉さん女房の夫婦です。そして生まれた若鶴が京都府立西舞鶴高等学校です。西舞鶴高校の校歌の2ばん「愛宕山すがしき緑、彩雲のかがよふところ、舞い上がる若鶴ここに・・・」とある若鶴は正に西高卒業生です。

舞女・舞中の優秀なDNAを受け継いで生まれた若鶴、この鶴に文武の道を教え育て、社会へと巣立たせるのが教職員の皆さんの力です。同窓会は教職員皆さんと卒業生の熱烈なサポートです・・・と、その場での思いを自分なりに解釈して話しました。

本校に理数探究科ができたの

# ごあいさつ

校長 福井秀之



向署の候、双鶴同窓会の皆様方におかれましては、ますます御健勝にて御活躍のことと心からお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に對しまして、温かい御理解と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。私事ではあります、今年度の人事異動により、退職されました倉垣誠校長の後任として参りました。

前任の倉垣校長と同様、宜しくお願いたします。さて、東日本大震災発生から一年余が経過しました。この震災でお亡くなりになりました多くの方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災された皆様をはじめ現在も避難生活を余儀なくされておられます皆様

に心からお見舞いを申し上げます。未曾有の国難に直面する中に

あつて、私たち教職員は、普段通りに勉強ができることを生徒とともに感謝しながら毎日を過ごさねばと思つています。

現在、全日制は、普通科六クラス、理数探究科一クラスの一年計七クラス、全校二十一クラスの生徒数八百四十名を数える学校規模となり、府北部の中学校としてますますその存在感を大きくしています。また、通信制では、二百名を超える生徒が在籍し、自学自習という学習形態の中で、仕事や家庭との両立を図りながら高校卒業の資格取得を目指しています。

一方、課外活動においては、部活動に、生徒会活動に、ボラ

が平成18年、以前にもまして学校としてのレベルと生徒の資質や社会的な評価は高くなり、入学難関校となりました。

高校受験生・生徒・保護者にも良い緊張感が生まれています。あらゆる機会に、校長先生を初め全教職員の方々の教育・生徒指導に対する思いには熱いものを感じます。先生方は本校の伝統と校風をよく理解されて生徒指導に専念されています。

舞女・舞中の伝統は受け継がれています。我が母校健在であります。



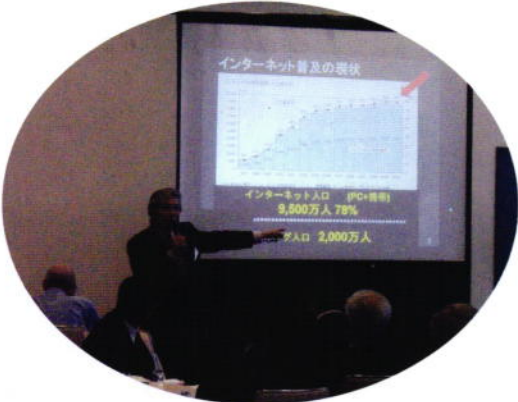
最悪と言われていましたが、皆様方のおかげで就職希望者は全員が決定しました。また、進学につきましても、希望進路の実現に向けて、最後まで粘り強く取り組むことができました。私たち教職員一同、同窓会の皆様を始め、地域の皆様のお力も借りしながら、全日制と通信制課程それぞれが、地域社会の期待にこたえる学校となるよう努めてまいります。

結びにあたりまして、双鶴同窓会のみならずの御発展と会員の皆様方の御健勝・御多幸をお祈り申し上げます。

平成二十三年 度 総 会 開 催

平成二十三年 度 評 議 員 会 が 六 月 十 一 日 に、西 駅 交 流 セ ン ター で 開 催 さ れ ま し た。会 員 約 百 二 十 一 名 が 参 加 し、事 業 報 告・会 計 報 告・監 査 報 告 が な さ れ ま し た。

評 議 員 会 後 に、記 念 事 業 と し て「双 鶴 同 窓 会 ホー ム ペー ジ の 開 設」が 紹 介 さ れ ま し た。



平成23年度 双鶴同窓会各支部役員

【東京支部】

支 部 長 山 口 文 明 (昭36定)  
事 務 局 長 澤 田 謙 二 (昭48高)  
〒160-0011 東京都新宿区若葉3-4  
TEL/FAX 03-3353-7165 (自)

【京都支部】

支 部 長 小 田 彬 人 (昭27高)  
事 務 局 長 宗 方 嘉 浩 (昭28高)  
〒611-0022 京都府宇治市白川鍋倉山14-1-5103  
TEL/FAX 0774-28-1507 (自)

【阪神支部】

支 部 長 福 田 徹 士 (昭33高)  
事 務 局  
〒666-0143 川西市清和台西5-2-72  
TEL/FAX 072-799-3735 (自)

◎定時制の会会長 植 村 英 人 (昭27定) 本部理事  
◎通信制の会会長 岩 田 護 (平9高) 本部理事

平成23年度 双鶴同窓会本部役員

会 長 南 房 夫 (昭32高)  
副 会 長 岸 本 真 澄 (昭20中) 舞 中 部 会 長  
飯 尾 幸 子 (昭17女) 舞 女 部 会 長  
大 瀧 隆 信 (昭37高) 高 校 部 会 長  
藤 岡 由 美 (昭40高) 高 校 副 部 会 長  
内 藤 行 雄 (昭41高) 高 校 副 部 会 長  
小 西 正 純 (昭45高) 高 校 副 部 会 長  
理 事 長 林 田 光 弘 (昭40高)  
副 理 事 長 藤 友 幸 (昭43高)  
庶 務 理 事 阪 代 宏 (昭46高) 松 田 潔 (昭56高)  
野 田 和 代 (昭60高) 土 師 千 穂 (昭62高)  
竹 田 友 子 (昭63高) 岡 本 健 (平9高)  
水 野 寛 子 (平9高) 高 井 奈 都 (平10高)  
山 口 奈 美 (平17高) 出 石 奈 緒 子 (平17高)  
会 計 理 事 西 村 和 夫 (昭48高)  
監 査 藤 田 伊 佐 雄 (昭25高)  
田 中 俊 樹 (昭36高)  
顧 問 倉 垣 誠 浩 校 長  
北 川 鯉 平 全 日 制 副 校 長  
竹 村 尚 行 (昭47高) 通 信 制 副 校 長  
与 金 村 九 二 夫 (昭26高) 事 務 局 長  
第 7 代 会 長